

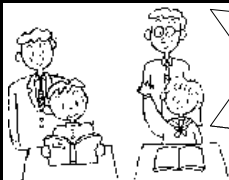
北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年6月21日(月)

NO17(通算79)



教育委員会学校訪問 先生方の勉強会

16日に教育委員会計画訪問が実施されました。簡単に言えば教師の勉強会です。藤岡市教育委員会、群馬県教育委員会事務局西部教育事務所の先生方15名が来校し、授業を参観し、その後、授業について指導をしていただきました。この他にも北中学校では、校内の研修会や教師同士の授業参観、学校外での研修会参加などを通して、一人ひとりの教師の力を向上させる努力を行っています。

愚かなればこそ学ぶ



大人になっても、またどのような職業に就こうとも、勉強=研修は必要です。勉強しなければならないのは、子どもだけではありません。お母さん方も、毎日の家事の中で、どうしたら能率的に仕事ができるか、どう味付けしたら子どもたちが喜んで食べてくれるか工夫していると思います。そこがとても大切なのです。

先日1年生の生徒にインタビューを受けました。その中で、「苦手な教科はどう勉強したらよいのですか」といった質問がありました。確か、「嫌い、苦手な教科は家庭学習をしても、最後に回すか、しないことが多い。できれば一番最初に短い時間でもいいから取り組むといいね」と答えたと思います。

忘れることができない恩師の言葉があります。確か中学2年生のときの話です。私は、英語が大変苦手でした。ある時テストですごい点を取ったのです。案の定先生から呼び出しがありました。たぶんその時、自分の頭の悪さを嘆き、「いくらやっても英語はダメです」とか何とか言ったと思います。それに対して先生が「人は皆、愚かなればこそ学ぶのだ。分かっているれば勉強をやる必要はない。もし、他より愚かの度合いが高いと思うなら、他人が1時間や



るところを、2時間かけてやればいいんだ。」この「愚かなればこそ学ぶ」という先生の一言がその後の私をどんなに励ましてくれたか、計り知れません。私は決して優等生ではありません。ただ、「自分の愚かさを嘆き、悩んでいるだけでは少しも向上はない。『愚かなればこそ学ぶ』という強い自覚と意欲を持って日々の努力をしてきた」ことだけは胸を張ることができます。

どうぞ、この言葉について子どもさんと一緒に考えてみてください。できないからあきらめたり、逃げていては、いつまでたってもできるようにはならないのですから。

「ありがとう
ございました」
教育実習生の手紙から



11日で3週間の教育実習を終えた学生からお礼の手紙が届きました。教育実習とは、教師の免許状を取得するための単位の一つとして、学校現場で、3~4週間程度実習するものです。

「(略)過日は教育実習におきまして、大変お世話になり、誠にありがとうございました。教師として、生徒と接した3週間は、その大変さとやりがい非常に強く感じさせる日々でした。生徒と触れ合う中で、共に学び、成長し、授業を作り上げていく喜びを感じ、教師という職業の魅力を再確認いたしました。(略)自分らしく、全力を尽くすことができました。温かく支えてくださったことに、厚く御礼申しあげます。(略)」

このような「感謝」の気持ちを表した手紙をいただくと、教育実習を引き受けてよかったなと思うと同時に、ぜひ素晴らしい先生になってほしいと思います。



何かのとき、皆様は「感謝」の気持ちを素直に伝えることができますか？子どもや夫(奥様)に、父や母に、そしてお世話になった人に「ありがとう」「助かりました」などと言えますか。なんか照れくさいですね。でも親しき仲にも礼儀ありです。心が通じ合い、今まで以上にいい人間関係が！！！！